

「NPO 法人 ワン・フォー・オール」を訪ねました。

7月6日（土）11：30頃、山口宇部空港からほど近い無人のJR宇部線草江駅に降り立ちました。そこから歩いて5分のところにある団体が拠点とされている古民家（元網本の家で、500坪以上ありそうな大きなお屋敷です）を訪ねました。

『温故知新プロジェクト』若い力で私達の街を国際学園都市へ発展させよう！』をテーマに宇部高専と宇部高の生徒たち十数名が中心となって、台湾、インドネシア、韓国等からの留学生十数名をもてなしていました。大人は、裏方に徹されて、若者に進行を任されていました。この活動は、国際交流と同時に、若者の主体性を育む素晴らしいものでした。

学生リーダー挨拶の後、庭でホットドック、手巻き寿司を自分で作って食べる食事会が行われ、続いて七夕の短冊を書いて笹に吊るしたり、スイカ割りをしたりしました。



JR 草江駅（全国一小さい空港最寄駅）



色々な国の言葉で書かれた七夕の短冊



この部屋で最初の挨拶（2年分の贈呈書）

<ワン・フォー・オール>



外国人がスイカ割り体験

元々は、宇部高校ラグビー部OBがグラウンドの一部芝生化に取り組んだのが始まり。地元を活気づけようと集まって活動を開始した。国際交流を進めていた一昨年、現在の宇部高校3年の女子生徒と一緒に活動したいと入ってきたところから若者主体の活動へと変化した。